

「井上陽水」と「ユーミン」「中島みゆき」その3

中島みゆきは、「時代」のあとに、「ファイト」を歌っていく。

「ファイト」中島みゆき作詞作曲

あたし中卒やからね 仕事を もらわれへんのや と書いた
女の子の手紙の文字は とがりながらふるえている
ガキのくせにと頬を打たれ 少年たちの眼が年をとる
悔しさを握りしめすぎた こぶしの中 爪が突き刺さる

私 本当は目撃したんです 昨日電車の駅 階段で
ころがり落ちた子供と つきとばした女のうす笑い
私 驚いてしまって 助けもせず 叫びもしなかった
ただ 怖くて逃げました 私の敵は 私です

ファイト！ 闘う君の歌を
闘わない奴等が笑うだろう
ファイト！ 冷たい水の中を
ふるえながらのぼってゆけ

暗い水の流れに打たれながら 魚たちのぼってゆく
光っているのは傷ついて はがれかけた鱗が揺れるから
いっそ水の流れに身を任せ 流れ落ちてしまえば楽なのにね
やせこけて そんなにやせこけて 魚たちのぼってゆく

勝つか負けるかそれはわからない それでもとにかく闘いの
出場通知を抱きしめて あいつは海になりました

ファイト！ 闘う君の歌を
闘わない奴等が笑うだろう
ファイト！ 冷たい水の中を
ふるえながらのぼってゆけ

薄情もんが 田舎の町に あと足で砂ばかける って言われてさ
出ていくならお前の 身内も住めんようにしちやる って言われてさ
うっかり燃やしたことにして やっぱり燃やせんかったこの切符
あんたに送るけん持とってよ 滲んだ文字 東京ゆき

ファイト！ 闘う君の歌を
闘わない奴等が笑うだろう
ファイト！ 冷たい水の中を
ふるえながらのぼってゆけ

あたし男だったらよかったわ 力づくで男の思うままに
ならずすんだかもしれないだけ あたし男に生まれればよかったわ

ああ 小魚たちの群れきらきらと 海の中の国境を越えてゆく
諦めという名の鎖を 身をよじってほどいてゆく

ファイト！ 闘う君の歌を
闘わない奴等が笑うだろう
ファイト！ 冷たい水の中を
ふるえながらのぼってゆけ

この世界観やいかに。心震える歌詞であります。(つづく)